

# 政務調査だより

2021年 冬号

## 新型コロナウイルス対策と 経済再生の両立へ!

札幌市議会議員 (北区)

# むらまつ やすひろ 叶啓



### ごあいさつ



いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、日頃から私の活動に温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが札幌はもとより、北海道経済や市民生活に深刻な影響を及ぼしています。このコロナ禍を一刻も早く克服

するため、私が委員長を務める市議会総務委員会や、所属する新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会でも幾度となく協議を重ねております。特に保健所や高齢者施設、障がい者施設などにおける感染防止と医療体制の強化を最優先にしつつ、社会経済活

動との両立に全力で取り組んできました。

今年1月の臨時市議会までに計上した札幌市の新型コロナ緊急対策は総額4027億円に上り、医療体制の強化はもとより中小企業・小規模事業者や時短要請に応じた事業者への協力支援金(追加)など、社会経済対策も盛り込んでいます。また、コロナ禍で苦境にある「ひとり親世帯」を支援するため、札幌市は収入が急減した児童扶養手当を受けていないひとり親世帯に、1世帯当たり5万円を新たに支給します。1月20日から申請を受け付けています。

今後の感染状況によっては、さらに必要な予算の財源を捻出していかなければなりません。これからも私の政治信条であります「優しく、強い街づくり」の通り、活力あふれる札幌市、北区の確かな未来を目指します。

## 住民の利便性向上やにぎわいづくりにつながる 篠路駅周辺地区まちづくり

総事業費24億9千万円をかけた篠路駅東口土地区画整理事業が、2030年度までの期間で進められています。事業概要は駅前に交通広場を整備し、バスやタクシー乗り場のほか、体の不自由な方達が利用しやすい自家用車の乗降スペースを設け、駅の利便性を高めるというものです。また、交通広場につながる主要道路「篠路駅東通」や区画道路、自転車・歩行者専用道路を整備し、商業施設や医療機関を誘致することにより、住民の生活利便性の向上を目指します。

同駅周辺では土地区画整理の他鉄道高架化や市道の拡幅などの事業が今後進められ、持続可能な札幌型の集約連携都市の再構築へに向けた地域の期待が高まっています。



## 令和3年度予算編成に向けた主な重点要望

### 全市的課題

- 新型コロナウイルス感染症対策の推進と経済再生への支援強化
- 「新北海道スタイル」の促進と観光産業への営業支援強化
- 冬季オリンピック・パラリンピック(2030)の札幌招致
- 北海道新幹線の早期札幌延伸と札幌駅周辺整備促進
- 「都心アクセス道路(国道5号)」の早期実現
- パートナーシップ排雪制度の抜本的見直し
- 児童虐待撲滅への人員体制強化と地域・関係機関との連携強化
- 待機児童ゼロへの保育人材確保と就労継続のための支援強化
- ひとり親世帯への支援・子どもの貧困対策の促進
- 敬老優待乗車証(敬老パス)のJR利用の実現

### 北区の課題

- 北区役所庁舎建て替えに向けた総合的な議論と検討
- 拓北～あいの里間アンダーパスの早期実現
- 百合が原烈々布幹線の整備
- 新琴似769番地土地「市民運動広場」の早期完成



### むらまつ やすひろ 政務調査室

〒002-8022 札幌市北区篠路2条7丁目5-22  
TEL:(011)774-6913  
FAX:(011)788-3920  
E-mail:info@m-muramatsu.com

### むらまつ やすひろの プロフィール

●昭和50年、札幌市北区生まれ ●篠路小学校、上篠路中学校、北海高校卒業 ●東京工科大学建築工学科卒業後、民間企業で15年にわたり建築業に従事 ●平成27年、札幌市議会議員に初当選(現在2期目) ●現在、札幌市議会総務委員長、大都市税財政制度・災害対策調査特別委員、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員、札幌市議会自民党議員会副幹事長、自民党札幌市民運動本部長 ●主な資格:一級建築施工管理技士、二級建築士、建設業監理技術者、札幌市木造住宅耐震診断員



# ウィズコロナ時代の今こそ 市民の命と暮らしを守るために 私たち「自民党」は全力で取り組みます!

札幌市議会自由民主党議員会では、  
新型コロナウイルスへの感染拡大が表面化して以降、  
国や札幌市などの関係機関に対し、  
市民の命と暮らしを守るために必要な医療・検査体制の強化、  
経済回復に向けた支援の充実を強く求めてきました。  
令和4年に市政施行100年を迎える札幌市が、  
将来にわたって成熟した魅力ある都市であり続けるため、  
自民党はコロナ対策をはじめとする市政課題に一丸となって取り組みます。



今後の人口減少を見据えた  
**新たな都市づくり**を推進

**企業支援の充実強化と  
生産性向上で経済を活性化**

**子育て支援の充実で  
少子化をストップ**

**災害・雪に強いまちづくりで  
安全・安心を実現**

アフターコロナに向けた  
魅力ある**観光地づくり**推進

子どもたちの未来を育む  
**教育環境**を推進

**医療・検査体制の強化で  
市民の健康と命を守る**

みんなが参加できる  
**国際スポーツ都市**を創造

高齢者が元気で暮らせる  
「**健康長寿のまち**」へ

**行財政改革と業務効率化で  
住民サービス向上**

## 札幌市の新型コロナウイルス 対策規模 **総額 4002億円**

札幌市における新型コロナウイルス感染症への対応は、令和2年春から12月末の第6回臨時議会までに、感染拡大防止や市民生活への支援、経済活動の回復に向け、総額4002億円の対策費を計上しました。市議会第一会派である自民党議員会では、市民の命と暮らしに直結する施策の推進に、引き続き全力を注いでいきます。

### 医療提供体制の強化と 感染拡大の防止 **232億円**

#### 医療提供体制強化 **155億円**

- ・PCR検査センター設置、入院病床確保、入院患者受入体制強化・・・26億円
- ・相談窓口及び帰国者・接触者相談センター設置・運営・・・4億円
- ・感染症病棟に係る医薬品及び機器等の購入・・・4億円
- ・検体及び患者移送経費・・・12億円
- ・検査及び試薬等の購入経費及び入院自己負担分の公費負担・・・30億円
- ・インフルエンザ流行期における発熱患者の診療体制整備・・・13億円
- ・感染症に対応する職員手当の増額・・・12億円
- ・医療機関及び児童福祉施設等従事者慰労金・・・13億円
- ・二次救急医療機関等の院内感染防止対策・・・32億円
- ・高齢者のインフルエンザ予防接種・・・8億円

#### 感染拡大防止 **77億円**

- ・学校、障がい及び児童福祉施設等の備品購入、施設改修支援・・・33億円
- ・観光関連団体、商店街の経済活動支援・・・13億円
- ・放課後児童クラブ等の運営費増分及び保育料等の返還・・・6億円
- ・介護及び障がいサービス事業所の感染リスク低減支援・・・7億円
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種・・・16億円

### 事業の継続と雇用の維持、 市民生活への支援 **3631億円**

#### 中小・小規模事業者等に対する支援 **1517億円**

- ・企業者等を支援する融資枠の拡充・・・1326億円
- ・利子補給、信用保証料補給・・・66億円
- ・新しい生活様式実践事業者支援・・・26億円
- ・休業等に応じた企業等への支援金・・・28億円
- ・繁華街における営業時間短縮等要請協力事業者協力支援金・・・44億円
- ・中小企業を対象としたテレワーク等の導入補助・・・4億円
- ・タクシー、バス事業者及び宿泊事業者支援・・・7億円
- ・学校給食中止対応・・・4億円

#### 離職者、求職者等への支援 **8億円**

- ・居住確保給付金、生活困窮者シェルターの拡充等・・・5億円
- ・就業機会を失った方への市による緊急雇用・・・2億円

#### 市民生活への支援 **2106億円**

- ・特別定額給付金の給付・・・1989億円
- ・児童手当受給世帯への臨時特別給付金・・・25億円
- ・低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金等・・・37億円
- ・国保等の保険料減免、還付及び傷病手当金の給付・・・8億円
- ・小中全学年へのタブレット端末導入等・・・38億円
- ・新たな基金を活用した支援・・・5億円

### 経済活動の回復・強靱な 経済構造の構築 **139億円**

#### 経済活動の回復

- ・プレミアム商品券の発行による消費喚起・・・63億円
- ・定山渓地区の観光消費促進及び観光施設等の入場無料化・・・4億円
- ・クラウドファンディングによる市内飲食店の売上回復支援・・・7億円
- ・飲食店等グループ販売促進支援・・・6億円
- ・国内観光需要回復キャンペーンと観光需要回復補助・・・5億円
- ・観光需要喚起を目的とした市内宿泊促進キャンペーン・・・52億円

